

カラ 一■成寿山善光寺開創三十周年、育英会設立十五周年 記念式典
特 集 ●善光寺開創三十周年、育英会十五周年 記念式典・祝賀会
祝辞..... 板橋興宗 下

●善光寺開創三十周年を祝う..... 園部 逸夫

●スリランカ：大菩提会 ダルマパーラ生誕一三五年祝う記念式典..... 黒田 武志

特別読物 ●駒澤大学茶道部の五十年に寄せて 茶禪一味..... 黒田 武志

カラ 一■天童寺・西安・北京の旅..... 東郷 敏

旅行記 ●道元さまに引かれて天童山参り..... 國廣 良子

俳句 ●春 天童寺・西安・北京の旅..... 伊藤 博

●留学僧を取り巻く異文化..... 黒田 武志

特別読物 ●心の時代 留学生交流を支えて..... 阿部 慈園

留学記 ●ブラフマ・カマル..... 福田 智昭

●アメリカ禅センター滞在を終えて..... 遠藤 博因

●現代アメリカ禅仏教における一考察.....

善光寺ニュース.....

寄付お礼 170 声 172 読者のたより 176 留学育英生からのたより 189

題字・さし絵 伊藤三喜庵

巻頭言

善光寺住職 黒田 武志

今世紀の終わりに鑑み、横浜善光寺は開創、満二十年、育英会設立十五年といふ記念すべき年にめぐりあい、感慨も一入であります。

五月には区切りとしての記念式典を無事すませることが出来ました。これひとえに檀信徒の皆様や関係者の方々のご尽力の賜物であり、心から感謝し厚く御礼申し上げます。

記念行事として四月に中国天童寺を、また育英会記念行事として、十一月にタイ国ワットパクナムを団長富永豊重総代、伊藤初枝婦人会会長をはじめ三十余名の檀信徒の方々と一緒に参拝させていただくことが出来ました。

「ワットパクナム」は私が三十五年前、修行させていただいた寺院であります。此の度はプラ・マハージャマニガラチャラ大僧正は善光寺旅団一同には親愛の情を以って、至れり尽くせり歓迎を賜り、唯々尊崇と感恩のひとときを過ごすことが出来ました。昼食供養をすませた後、ブツダモントンを訪ねました。この聖地は仏紀二千五百年を記念してプミポン国王と政府が国家プロジェクトを組織し、半世紀をかけて作られた施設であります。今世紀最大の仏教遺産「パリー語南伝大蔵経」の経蔵を見学。経蔵の内部は大理石の板碑一四一八枚（縦二メートル、横一・一メートル）にお経が刻まれており、参拝団はこの規模と素晴らしさに圧倒され、タイ国民の偉大な信仰心と爆発的なエネルギーを感じて帰ってまいりました。つくづく釈尊のみ教えは大きく深く根づいていることを実感致しました。さて私達は、仏法を通して日本が世界から学び、日本を世界にアピールする時代到来と確信致します。釈尊のそして道元禅師の正伝の仏法を世に伝え残していくことが二十一世紀の使命であります。二十世紀は産業・経済ともに未曾有の発

展をしました。しかしその反面、失うものも多大でした。特に高齢化や少子化というかつてない問題や世界的にも環境が損なわれ、保護せねばならぬということが切実となりました。これからどうするかは今に生きる人々の責任と思慮、明断を以つての必要を痛感致します。

道元禅師は『学道の人は先ず貧ひんなるべし、財多ければ必ずその志しを失う』と申されました。自然に恵まれた日本人として、自然と共存し日本の歴史と伝統を大切にしながらこの素晴らしい日本文化を遺さねばなりません。

今こそ初心に立ち還り、日本の将来が国際社会の中で孤立しないよう、国際社会に通用する人づくりのためさらなる決意を以て、善光寺は国際的な仏教交流に力を尽くし、そして仏法興隆と世界平和に貢献したいと念願いたしております。